

京都芸術劇場ニュースレター



写真：荒木経惟

9月26日(土) 14:00/18:00

27日(日) 14:00

新作 ダンス公演

原色衝動

パラダイスでインパルス

大学に二つの劇場ができ、舞台芸術研究センターが設立されてから来年で15周年を迎える。

この間、実験的なダンス作品、また記念碑的なダンス作品の上演を行ってきたことに多少の自負を持っている。今年秋に予定されている白井剛、キム・ソンヨンのダンス作品は恐らく、そのふたつを兼ね備えた作品になるだろう。春秋座という歌舞伎のために作られた劇場で、写真家、荒木経惟という圧倒的な世界観の存在を道連れに、二人はどこまでかぶいて行くだろうか。

まったく違ったダンスのバックボーンを持ちながらも、見え隠れする存在の共通性を見だし、遠ざけ、重なり、暴露しあい、関係を壊し、作り出すことを、この3年間、二人は日本と韓国を往復しながら繰り返してきた。それは、ダンスのコラボレーションというよりは、人と人がどう出会っていけるだろうかという時間でもあった。その過程で、ある日見いだされたものが「衝動」という言葉だった。

踊ることから、より見えてくる「衝動」の形、勢い、熱。それはひとつではなく、無数の方向を持っている。その中に、互いへのそして自分達を浸食し、傷つけもする世界への本質的な愛の態度を見いだすことができるだろうか。荒木経惟(アラキー)の原色の世界は、痛みの果てに優しさの沈黙と饒舌が満ち満ちている。

宣伝美術をお願いした、榎本了壺氏ともども、男達の出会いの場所に遭遇した。なんとも清々しい時間だった。それは、眼差しが遠い距離の中で交差する、未知の時間への出発のようだった。

この作品を皆様とともに、心待ちしたいと願っています。

山田せつ子

ダンサー・コレオグラファー／
京都造形芸術大学舞台芸術研究センター 主任研究員

特集

原色衝動 — 1P・2P

ゼロ・アワー — 東京ローズ最後のテープ — 2P

伝統芸能の今 2015 — 3P

復曲能「菅丞相」上演 — 4P

安蘭けい&京フィル スペシャルコンサート／立川志の輔独演会 — 5P

新作 ダンス公演 **原色衝動** パラダイスでインパルス

9月26日(土) 14:00/18:00、27日(日) 14:00

◎公演情報の詳細はスケジュール一覧をご覧ください。

韓国を拠点に世界的に活躍しているダンサー・コレオグラファーのキム・ソンヨンと、日本の同世代のダンサー・コレオグラファーである白井剛は、2013年度より京都・東京・インチョン(韓国)でワークショップを重ねており、この作品創りの過程で、ふたりは写真家・荒木経惟氏の作品と出会いました。強烈な色彩と圧倒的なインパクトを放つ、最近の荒木作品をテキストとし、生と死をめぐる荒木作品とダンスがいかに対峙するかをテーマに、精神・身体で互いに向き合い、ふたりの対話を軸につくられた新作を発表します。

振付・構成・出演：白井剛、キム・ソンヨン

映像写真：荒木経惟「往生写真—東ノ空・PARADISE」より

企画・制作：京都造形芸術大学舞台芸術研究センター、世田谷パブリックシアター
平成27年度文化庁大学を活用した文化芸術推進事業、京都芸術センター制作支援事業



写真：荒木経惟

白井剛

(ダンサー/コレオグラファー)

1976年生まれ。1998年、カンパニー「Study of Live works 発条ト(ばねと)」を設立し、「パニョレ国際振付賞」(2000)、トヨタコレオグラフィアワード「次代を担う振付家賞」(2006)を受賞。さまざまなアーティストと積極的にコラボレートし、既存の舞台表現にとられない新しいパフォーマンスに取り組んでいる。春秋座では「禁色」(2005)、「恋する虜—ジュネ/身体/イマージュ」(2008)、「マラルメプロジェクトII・III」(2011、2012)他多数出演。

キム・ソンヨン

(ダンサー/コレオグラファー)

1976年生まれ。1997年、最年少で「東亜舞踊コンクール」金賞を受賞。自身のカンパニー Dance Company MooE とフランスのカンパニーとで共同制作した作品を、フランス国立レンヌ・ブルターニュ振付センター(musée de la danse)で発表するなど、国内外で活躍している。現在、漢陽大学、ソウル大学でダンスを教える他、米ベルヘブン大学客員特別講義教授。韓国国立現代舞踊団の招待コレオグラファーとしても活躍している。



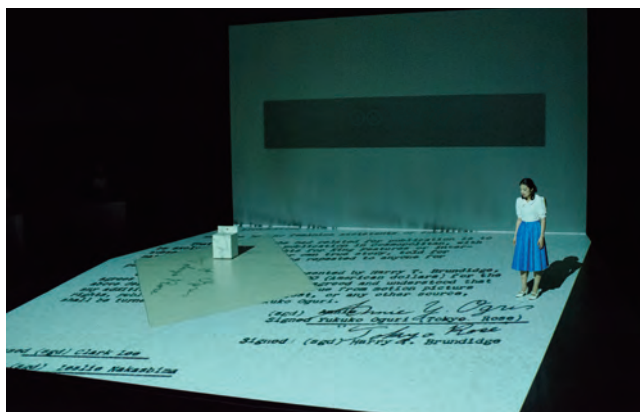
荒木経惟「PARADISE」シリーズより

アメリカ・カナダツアー凱旋公演

ゼロ・アワー — 東京ローズ最後のテープ—

7月18日(土) 14:00/19:00、19日(日) 14:00

◎公演情報の詳細はスケジュール一覧をご覧ください。



助成：平成27年度 文化庁 大学を活用した文化芸術推進事業

愛をこめて、貴方たちの敵より。 With love, from your enemy

「東京ローズ」は存在したのか？

ゼロ・アワーとは、太平洋戦争中に日本政府が英語で連合国軍向けに発信していたプロパガンダ・ラジオ番組。南太平洋で戦う米兵たちに届く魅惑的かつ退廃をそそる女性アナウンサーの声は、いつの間にか東洋の魔女“東京ローズ”と呼ばれるようになる。終戦後、米国ジャーナリスト達は、声の主を探し出そうと廃墟の東京に殺到するが…。

史実とフィクションが交錯する「声たち」をめぐる物語。

やなぎみわが作・演出・美術を手がける本作品は2013年7月神奈川芸術劇場、同年8月あいちトリエンナーレで上演された後、2015年1月～2月にかけてアメリカ、カナダにて計10公演が上演され、ニューヨークタイムズに劇評も掲載されるなど現地での注目を浴びました。今回の凱旋公演は北米ツアーと同様の演出で、台詞は英語で日本語字幕付きでの上演となります。

※P.7の「ホワイエ」も併せてお読みください。

作・演出・美術：やなぎみわ

振付：松本芽紅見

出演者：荒尾日南子・小林亜美・西村壮悟・松崎颯・明季・益田さち・松本芽紅見

京都芸術劇場 春秋座 芸術監督プログラム ゴールドリボン+世界の子どもにワクチンを チャリティー企画

9月1日(火) 13:00/17:00

●公演情報の詳細は
スケジュール一覧をご覧ください。

伝統芸能の今 2015

今、この時しか 出会えない ジャンルを超えた 融合《コラボレーション》

日本の伝統芸能を支えるアーティストたちが集結し、ジャンルを超えたコラボレーションをお見せする『伝統芸能の今』。7年目となる今回は、歌舞伎俳優の市川猿之助と能楽師大鼓方の亀井広忠、歌舞伎囃子方・田中傳次郎のオリジナルメンバーに加え、三味線奏者・上妻宏光と尺八演奏家・藤原道山、さらに伝統芸能の枠を超えて、クラシックギタリストの村治佳織を迎えます。これまでにない新しい伝統芸能の〈今〉をお楽しみください。

おかげさまでこの7年、様々な形で公演を継続させていただきました。多くの募金をお預かりし、ご寄付を積み重ねてこられたということについては、本当にありがたいと思っています。これが、毎年やらなければならないといったプレッシャーからやるのではなく、無理なく自然に続けていけることが重要ではないかと感じています。

舞台人としてできることは何かということを考えてときに、医療活動、教育活動、ボランティアなどを直接させていただくことが難しい分、舞台を通してお客様にお楽しみいただくことで、子どもたちが育つ環境、社会を作ることに貢献ができればという思いで公演をさせていただいています。

さて、『組曲百花』とタイトルをつけましたこの演目では、出演する演奏家それぞれの演奏を組曲のようにお聴かせしたいと思っています。それぞれが持つ「華」が、舞台の上で咲き乱れる贅沢な競演になるはずです。

『葵上』は、皆さまよくご存知の源氏物語を基にした演目です。今回は箏曲でお見せしますが、品格のある幻想的な音楽の中で、猿之助さんがどのような世界を創られるか、私自身もとても楽しみです。

『鉄輪』は私が主宰する音楽コンサート「珠響」で初演した演目です。「和洋のジャンルを超えたガラ・コンサート」をテーマに、今回も出演して下さる藤原道山さんや、村治佳織さんと公演をさせていただいていました。『鉄輪』は初めて邦楽・洋楽のジャンルを超えて、一つの作品を作った思い出深い曲です。夫に裏切られた女性が嫉妬のあまり鬼となってしまう京都・貴船神社にまつわる物語ですが、この時も猿之助さんに朗読と舞で新たな世界を創っていただきました。今回も魅惑的な舞台をお届けできればと考えています。

皆さまお誘い合わせの上、ご来場下さいます様、お願い申し上げます。

田中傳次郎



歌舞伎俳優
市川猿之助

演目——

一、トーク

市川猿之助／藤原道山・上妻宏光／亀井広忠・田中傳次郎／村治佳織

二、「組曲百花」

藤原道山・上妻宏光／亀井広忠・田中傳次郎／村治佳織

三、舞踊「葵上」

市川猿之助

四、朗読舞踊「鉄輪」

市川猿之助／藤原道山・上妻宏光／亀井広忠・田中傳次郎／村治佳織



尺八演奏家
藤原道山



三味線奏者
上妻宏光



能楽師大鼓方
亀井広忠



歌舞伎囃子方
田中傳次郎



特別出演
村治佳織
ギタリスト

かんしょうじょう

復曲能「菅丞相」上演

8月2日(日) 14:00

◎公演情報の詳細はスケジュール一覧をご覧ください。

道真の苦悩、師弟愛、天下泰平の祈念

本曲は、現在ほどの流儀でも演じていない、いわゆる廃曲ですが、平成14年の菅公1100年祭にさいして大阪天満宮の委嘱で同社本殿前の特設舞台において、観世流大槻文藏氏のシテ、天野文雄の監修で、約500年ぶりに復活上演された作品です。

太宰府に流されて憤死した菅丞相(菅原道真)の怨念によって、帝が病臥ほっしょうぼうされているおり、菅丞相の亡霊が白髪の童子姿で、生前の師である、比叡山の法性坊のもとに現われ、朝廷から祈祷のために召されても参内さんだいしないでほしいと懇願します。法性坊が朝廷からの招請が三度に及んだなら、参内しないわけにはゆかないという、菅丞相は憤怒の色を見せ、御前の石榴を噛み砕いて妻戸に吐きかけるや、石榴は火炎となって燃え上がり、菅丞相は姿を消します。

後刻、牛車で参内しようとする法性坊の行く手を、白川あたりで火雷神を従えた菅丞相の亡霊が妨げようと現われますが、師法性坊の説得によって、菅丞相は牛車を先導して、ともに内裏に向かいます。その結果、菅丞相は天満天神となって、いまにいたるまで国土の守護神となったのです。

作者・制作時期ともに不明ですが、世阿弥の芸談『申楽談儀』にみえる「天神の能」が本曲の可能性が有ります。その場合、成立は14世紀後半の南北朝期となります。

みどころ

『菅丞相』の能としての特色は、なんといっても「人間道真」が描かれていることで、その点が、「雷」と化した道真が法性坊に調伏される現行の類曲『雷電』との違いです。その「人間道真」は、前場の叡山の法性坊での場面、後場の白川河畔での法性坊との対峙の場面など一曲に貫流しています。そのうち、とりわけ能ならではの場面といえ、前場では菅丞相が石榴を妻戸に吐きかける場面、後場では、登場直後の橋掛りに立つ菅丞相の亡霊の「荘厳なる凄み」、菅丞相に従う火雷神のハタラキ、師の説得で牛車を禁裡まで先導する終曲部などでしょう。

前場の道真の装束は、悲嘆のあまり一夜にして白髪になったという詞章をふまえて考案されたもので、頭は子方用の白頭かしら しりがしらです。

天野文雄

(能楽研究/京都造形芸術大学舞台芸術研究センター所長・教授)



菅丞相

ツレ 火雷神 大槻裕一
前シテ 菅丞相の霊(童子)
後シテ 菅丞相の怨霊 大槻文藏

ワキツレ 従僧 喜多雅人
ワキ 法性坊 福王茂十郎
ワキツレ 従僧 福王和幸

間 能方 茂山茂

後見 武宮康之
赤松禎友

地謡 浦田親良
林宗一郎

寺澤幸祐 山本博通

大鼓 河村大 太鼓 前川光長
小鼓 吉阪一郎 笛 杉市和

プログラム

14:00—14:10

解説 天野文雄

14:10—15:30

復曲能『菅丞相』上演

大槻文藏、福王茂十郎 他

〈休憩〉

15:45—16:30

トークセッション

「映像と語る復曲『菅丞相』」

大槻文藏

渡邊守章

(演出家・フランス演劇/京都造形芸術大学客員教授)

天野文雄(進行)

※上演に併せて、関連公開レクチャーを開催します。「菅丞相」を題材にした歌舞伎の演目、能の「復曲」の歴史、「復曲」が現代の能に及ぼす影響など、レクチャーを通じて、通常の能とは根本的に異なる復曲の上演について学びます。1レクチャーのみの受講も可能です。開催日などはスケジュール(P.7)をご覧ください。

安蘭けい & 京フィル スペシャルコンサート

11月8日(日) 13:00/17:00

●公演情報の詳細はスケジュール一覧をご覧ください。

元宝塚歌劇トップスターで現在もミュージカル界で大活躍中の安蘭けいが、お得意のミュージカルナンバーや懐かしの宝塚ナンバーを、京都フィルハーモニー室内合奏団の演奏で披露する春秋座だけの珠玉のコンサートです。



撮影：瀬田秀行

安蘭けいさんの歌声を初めて聴いたのは、2009年、東京国際フォーラムで行われたミュージカル「アイーダ」でした。指揮者の井村誠貴さんの招きで公開リハーサルを見学。リハーサル開始の19時予定が、なんと始まったのは21時で、クラシックの世界ではありえない時間でした。安蘭さんはじめ出演者の皆さんは全力投球の舞台で、中でも安蘭さんの歌声は素晴らしく、いつか共演したいと願って帰京しました。そして2013年、京都で初共演が実現しました。なんとと言っても、大人気の元宝塚歌劇のトップスターですから雲の上の存在です。打ち合わせ

では緊張していましたが、安蘭さんは大変気さくな方で、子供の頃やら宝塚時代のこと、また公演内容のことなど色々話しが盛り上がり、これで公演成功は間違いなしと確信を得ました。特にミュージカル『MITSUKO』の中の「後ろを振り向かず」の熱唱は今も胸に残っています。

そして今回、春秋座特別バージョンでまた共演できるのを、演奏者共々心待ちにしています。

京都フィルハーモニー室内合奏団 理事長
小林 明

立川志の輔 独演会

11月13日(金) 18:00、14日(土) 17:00、15日(日) 14:00

●公演情報の詳細はスケジュール一覧をご覧ください。

2009年より毎年、完売必至の「立川志の輔独演会」。2011年は歌舞伎にちなんだ『中村仲蔵』、2012年は大作創作落語『大河への道〜伊能忠敬物語』、2013年は松羽目を使用し森鷗外の名作『高瀬舟』を上演。昨年は創作落語『親の顔』と大岡裁きの一編である人情噺『帯久』を口演し、笑いあり涙ありの独演会となり、回を重ねる毎に「春秋座で志の輔さんを観たい！」というお客様が増えています。

7年目となる今年は、皆様のご期待にお応えして3ステージの開催が実現しました！

古典・新作を問わず落語に新しい息吹を吹き込む“志の輔らくご”。今年は何んな噺が出るのか、どうぞご期待下さい。



2015年度 舞台芸術の創造・受容のための領域横断的・実践的研究拠点プロジェクト

「舞台芸術の創造・受容のための領域横断的・実践的研究拠点」は、舞台芸術研究センターが母体となり、文部科学省「共同利用共同研究拠点」の認定を受けて2013年度に設置された研究拠点です。当プロジェクトでは、本学研究者が中心となって行う「テーマ研究課題」と、学外の研究者に広く課題を公募する「公募研究課題」を実施しています。京都芸術劇場を使用した、いわば「劇場実験」を核とするプロジェクトを通して、学術研究の基盤強化および新たな学術研究の展開を目指します。

特設サイト：<http://www.k-pac.org/kyoten/>

テーマ研究

- I クローデル『縞子の靴』上演のための実践的研究
研究代表者：渡邊守章（演出家/京都造形芸術大学 客員教授）
- II ダンスの創造的行為をめぐって
研究代表者：山田せつ子（舞踊家）
- III セノグラフィーの歴史アーカイブ構想
研究代表者：岩村原太（京都造形芸術大学舞台芸術学科 准教授/舞台照明家）
- IV アジアの大学における演劇教育—劇場を活用した舞台教育の方法論的探究
研究代表者：平井愛子（京都造形芸術大学舞台芸術学科 教授）



公募研究

- I 「ダンス 2.0」の環境構築を通して今日的課題へとダンスをつなぐ試み
研究代表者：木村覚（日本女子大学人間社会学部文化学科 准教授/美学・ダンス研究）
- II マヤコフスキー研究～詩人の仕事の解明と新しい演劇言語の開発
研究代表者：三浦基（演出家/地点代表）
- III 想起の空間としての劇場
研究代表者：横堀広彦（東京藝術大学大学院音楽研究科 専門研究員/ドラマトウルク）

「対日謀略放送」のこと

「東京ローズ」という言葉を聞いて、「対日謀略放送」のことを思い出した。1944年6月にサイパン島を手中に収めたアメリカ軍は、やがて日本向けのラジオ放送を始めた。日本の軍部を批判する演説なども流されたらしいが、私は聞いていない。私が記憶しているのは、何の根拠もなく「空襲警報発令」という情報を流したりする番組で、雑音が多くて聞き取りにくく、日本語のアクセントもおかしいので、偽物であることはすぐに分った。それが「対日謀略放送」である。「東京ローズ」に似ているように見えるかも知れないが、重要な違いがある。「東京ローズ」の声はアメリカ本土には届いていなかった。しかし、「対日謀略放送」は日本中の家庭や職場で聞くことができた。戦争末期には日本の電波はアメリカにほしいままにされていたのであ

る。それだけではない。この時期の日本政府は国民に嘘をつき続けた。海戦でアメリカ軍に甚大な損害を与えたなどという出鱈目な情報を流す「大本営発表」を私は今でもよく覚えている。窮屈な食糧配給制度があって、小学生（当時の言い方では「国民学校生」）だった私は、いつも空腹だった。日本の多くの都市が激しい空襲を受けているのに、日本はなすすべもなかった。政府は国民の移動の自由を厳しく制限していた。要するに日本は国家として機能していなかったのである。日本が敗れることは明らかだったが、それでも愚かな為政者たちは戦い続けることを選んだ。

今の日本には、日本を再び戦争ができる国にしようと努めている政治家や官僚がいる。それによって日本に危険が迫ることはないと言われ、彼等は断言する

が、私は信じない。戦争をするとは自国を危険にさらすことなのである。日本にミサイルが飛んで来たり、人命が失われたり、国土が破壊されたりすることを、彼等は考えてもいないようだ。だが70年前の為政者たちも、日本に原子爆弾が投下されることなど全く予想してはいなかったのである。

喜志哲雄

英米演劇専攻、京都大学名誉教授

1935年生まれ。著書に『シェイクスピアのたくらみ』、『劇作家ハロルド・ピンター』、『ミュージカルが《最高》であった頃』など。シェイクスピアの『ヴェローナの二人の紳士』を翻案した『東男迷都路』が、6月に兵庫県立ピッコロ劇団によって上演された。

「立川」の亭号について

幕末から明治4年にかけて記されたと考えられる『本朝話者系図』の注釈作業を分担し、その成果が国立劇場から演芸資料選書・IIとして今春刊行された。この系図は「全亭武正」を名乗った江戸の落語家の筆になる、かつての落語家たちの名鑑というべきものである。

近世後期に成立した江戸職業落語の組織において、重要な位置を占めるのが烏亭焉馬であり、同書にも「立川談洲楼烏亭焉馬」と仰々しい名で掲げられている。この焉馬は噺の会を主宰し、その流れから職業落語家が誕生したため、今につながる江戸・東京落語の中興の祖などと称される人物。同書の焉馬の紹介文には「本所豎川二住ス」とあり、他の伝承などからも、住まいの近くに立川が流れていたところから、この亭号が生まれたようである。

そこからの噺家達の系譜は単純ではなく、必ずしも焉馬からの流れには該当しない噺家の中にも、同書に載る立川金馬のように立川を名乗った噺家が見受けられる。

また、幕末には上方にも立川を名乗る一派が存在したことが知られるが、同書には、初代と二代ふたりの「立川三光」の名も見える。上方でなぜ立川の一門が生じたのかについては信憑性に欠ける逸話くらいしかなく、信用できる文献が見出せないが、東・西落語界に立川が存在したのは、おそらく中興の祖たる烏亭焉馬の影響力もあってのことであろう。

こんにちの落語家が名乗る立川は、五代目柳家小さん門下の小桑さんが1963（昭和38）年に立川談志を復活させて以来の流れで、この談志が2011（平成23）年に没したのは記憶

に新しいところである。だから、現役落語家の名乗る立川は、直接には昭和期の談志までしか遡れない。だが、『本朝話者系図』を眺めると、落語家の組織基盤が整った近世後期から、主な流派の一つとして立川が存在していたことが改めて確認される。三遊亭や林家などは江戸期から現在まで連続と続いている。立川はいったん途絶したものの、江戸落語確立期からの亭号として今も健在なのは興味深いことではないだろうか。

中川桂

日本芸能史

1968年生まれ。兵庫県出身。日本芸能史（寄席芸能史・芸能興行史）専攻。二松学舎大学文学部准教授。著書に『江戸時代落語家列伝』（新典社、2014年）、共著に『落語の黄金時代』（三省堂、2010年）など。

7 July 2015

2日(木) 18:30 会場：人間館NA413教室
 □レクチャー/主催公演
復曲能「菅丞相」上演 関連公開レクチャー①
 【無料】※要事前申込み
 東京における「復曲」を展望する
 講師：松岡心平(能楽研究/東京大学教授)
 コーディネーター：天野文雄
 T-C 劇場HP復曲能「菅丞相」上演詳細ページ

9日(木) 18:00 会場：人間館NA412教室
 □レクチャー/主催公演
復曲能「菅丞相」上演 関連公開レクチャー②
 【無料】※要事前申込み
第一部 歌舞伎のなかの菅丞相
 講師：田口章子(歌舞伎研究/京都造形芸術大学教授)
第二部 国立能楽堂における「復曲」の軌跡
 講師：諸貫洋次、大貫誠之(国立能楽堂企画制作課)
 コーディネーター：天野文雄
 T-C 劇場HP復曲能「菅丞相」上演詳細ページ

11日(土) 17:30、12日(日) 13:00* ◆春秋座
 □和太鼓/主催公演
鼓童ワン・アース・ツアー2015 ～永遠
 【発売中・全席指定】
 一般 6000円 友の会 5000円 シニア 5500円
 学生&ユース 3000円 (200席限定)
 ※3歳未満のお子様のご入場はご遠慮ください。
 ★託児サービスあり(詳しくは劇場HPをご覧ください)。
 T-C OTS ぴあ e+ 新聞 生協 KBS

18日(土) 14:00*/19:00、19日(日) 14:00* ◆春秋座
 □演劇/主催公演
 アメリカ・カナダツアー凱旋公演 ◆特集▶P.02
ゼロ・アワー —東京ローズ最後のテープ
 英語上演・日本語字幕あり
 【発売中・整理番号付自由席】当日券は500円プラス
 一般 3500円 友の会 3000円 シニア 3200円
 学生&ユース 2000円
 ※未就学児のご入場はご遠慮ください。
 ★託児サービスあり(詳しくは劇場HPをご覧ください)。
 T-C OTS ぴあ e+ 生協

8 August 2015

2日(日) 14:00 ◆春秋座
 □能/主催公演
復曲能「菅丞相」上演 ◆特集▶P.04
 【発売中・全席指定】
 一般 3500円 友の会 3000円 シニア 3200円
 学生&ユース 2000円 ※未就学児のご入場はご遠慮ください。
 T-C OTS ぴあ 生協

9 September 2015

1日(土) 13:00*/17:00 ◆春秋座
 □伝統芸能/主催公演
 京都芸術劇場 春秋座 市川猿之助芸術監督プログラム ◆特集▶P.03
 ゴールドリボン+世界の子どもにワクチンを チャリティー企画
伝統芸能の今 2015
 【発売中・全席指定】
 一般 6500円 友の会 5500円 シニア 6000円
 学生&ユース席 3000円 ※未就学児のご入場はご遠慮ください。
 ★託児サービスあり(詳しくは劇場HPをご覧ください)。
 T-C OTS ぴあ e+ 新聞 生協

26日(土) 14:00*/18:00、27日(日) 14:00* ◆春秋座
 □ダンス/主催公演
原色衝動 ◆特集▶P.01、02
 【7月8日(水)/友の会7月7日(火) 発売・整理番号付自由席】
 当日券は500円プラス
 一般 3500円 友の会 3000円 シニア 3200円
 学生&ユース 2000円 ※未就学児のご入場はご遠慮ください。
 ★託児サービスあり(詳しくは劇場HPをご覧ください)。
 T-C OTS ぴあ e+ 生協

10 October 2015

10日(土) 15:00 ◆春秋座
 □コンサート/共催公演
アルゼンチン・タンゴ コンサート
 【一般7月15日(水)/友の会先行7月14日(火) 発売・全席指定】
 一般 5000円 友の会 4000円
 学生&ユース席 2500円(座席範囲指定)
 ※未就学児のご入場はご遠慮ください。
 T-C OTS ぴあ e+ 新聞 (一社) 達人の館 075-708-8930

11 November 2015

8日(日) 13:00/17:00 ◆春秋座
 □コンサート/主催公演
安蘭けい&京フィル スペシャルコンサート ◆特集▶P.05
 【一般8月26日(水)/友の会先行8月25日(火) 発売・全席指定】
 一般 6000円 友の会 5000円 シニア 5500円
 学生&ユース席 3000円(座席範囲指定)
 ※未就学児のご入場はご遠慮ください。
 T-C OTS ぴあ e+ 新聞 生協

13日(金) 18:00、14日(土) 17:00 ◆春秋座
 □落語/主催公演
 15日(日) 14:00 ◆特集▶P.05
2015年「立川志の輔 独演会」
 【一般9月9日(水)/友の会先行9月8日(火) 発売・全席指定】
 一般 4000円 友の会 3200円 シニア 3600円
 学生&ユース席 2000円(座席範囲指定)
 ※未就学児のご入場はご遠慮ください。
 T-C OTS ぴあ e+ 新聞 生協

募集中!

【京都芸術劇場友の会 会員】

《京都芸術劇場友の会》では、劇場の活動をより知っていただくため、会員の皆様に公演の詳しい情報をいち早くお知らせし、また、チケット割引や先行販売を通じて、少しでも早く劇場をご利用いただけるようサービスを行っております。ご用意できる特典はささやかですが、多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

《会員特典》

- ① 情報誌「京都芸術劇場ニュースレター」(年3回)や公演チラシを定期的にお届け!
- ② 京都芸術劇場チケットセンター(窓口・電話・オンラインストア)で会員番号によるチケット予約、1公演お一人様2~4枚(公演により異なる)まで割引料金にて購入可能!(公演により、予約・割引のない場合、窓口・電話のみの対応の場合もございます。)
- ③ 当劇場主催公演など、会員限定の先行販売あり!
- ④ 春秋座、studio21で行われる公開講座、公開シンポジウムなどもご案内!
- ⑤ 10年以上ご継続の会員様はプレミアム会員として、さらにお得な特典が受けられます。

《入会方法》 どちらかの方法をお選びください。【年会費 2000 円/有効期限・入会日より1年間】

1. 劇場チケットセンター窓口にてお申し込み(窓口受付/月~金 10~17時)

2. 郵便振替にてお申し込み

劇場郵便口座へ年会費 2000 円をお振込ください。

郵便局で青色の振込用紙にご記入ください。(振込み手数料別途 100 円程かかります。)

【口座番号】 00970-7-176517 【加入者名】 京都造形芸術大学 京都芸術劇場

【通信欄】 ①友の会 新規入会 ②お名前(フリガナ) ③生年月日 ④ FAX(あれば)

【ご依頼人】 お客様の住所・氏名・電話番号(わかりやすい字ではっきりとご記入ください。)

【オンライン会員】

登録無料! 24 時間ご予約可能! 選べる受取・お支払い方法!

公演情報をメールでお知らせ!

詳しくは、オンラインチケットストア(右記)へアクセス下さい。

(友の会にご入会いただくと、自動的にオンラインに登録いたします。)

2015 年度公開連続講座「日本芸能史」生命の更新~芸能・芸道の力

後期 企画・コーディネーター: 京都造形芸術大学 教授 田口章子

| | | |
|--------|-------------------|------------------------------|
| 9月28日 | 「総論Ⅱ」芸能・芸道 | 講師: 諏訪春雄 |
| 10月5日 | 「華道」芸道 | 講師: 池坊由紀(華道家) |
| 10月12日 | 「料理」芸道 | 講師: 森川裕之(日本料理家) |
| 10月19日 | 「常磐津」芸道 | 講師: 常磐津都岳蔵・常磐津都史 (三味線演奏家) |
| 10月26日 | 「匠の力ー染色」芸道 | 講師: 吉岡幸雄(染織家) |
| 11月2日 | 「名号の力ー法然・親鸞・一遍」芸道 | 講師: 諏訪春雄 |
| 11月9日 | 「長唄」芸道 | 講師: 今藤政太郎(三味線演奏家) |
| 11月16日 | 「能」芸能 | 講師: 片山九郎右衛門(能楽師) |
| 11月23日 | 「歌の力ー言霊信仰」芸道 | 講師: 佐々木隆 |
| 11月30日 | 「邦楽囃子」芸道 | 講師: 藤舎呂船(小鼓演奏家) |
| 12月7日 | 「狂言」芸能 | 講師: 茂山良暢(狂言師) |
| 12月14日 | 「日本舞踊」芸道 | 講師: 坂東温子(舞踊家) |
| 12月21日 | 「京舞」芸能 | 講師: 井上八千代(舞踊家) |
| 1月18日 | 「神楽」芸能 | 講師: 小林泰三(石見神楽面師) |

会場: 京都芸術劇場春秋座 毎回: 月曜日 16:30-17:50 受講料: 各期(全14回) 13,000円

お問い合わせ・資料請求先: 京都造形芸術大学(人間館中2階) 京都藝術学舎

tel.075-791-9124 FAX.075-791-9021(平日9-17時 土曜日は16時まで)

カーテンコール

7~11月の春秋座は伝統芸能、現代演劇、ダンスまで盛り沢山の内容です。劇場HPには、紙面でご紹介できなかった情報も掲載しております。併せて、ぜひご覧くださいませ。[S]

チケットお問合せ先

京都芸術劇場チケットセンター

tel.075-791-8240

営業: 平日 10:00-17:00・公演開催日

京都造形芸術大学
舞台芸術研究センター

京都芸術劇場 春秋座・studio21

606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-116

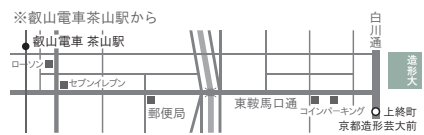
tel.075-791-9207 fax.075-791-9438

URL: <http://www.k-pac.org/>
E-mail: k-pac@kuad.kyoto-art.ac.jp

京都芸術劇場ブログ

<http://www.kyoto-art.ac.jp/blog-theater/>

京都芸術劇場 検索



● JR・近鉄京都駅、京阪三条駅、阪急河原町駅から
京都市バス5番「岩倉」行き乗車、
「上終町・京都造形芸大前」下車
(京都駅から約50分、三条駅・河原町駅から約30分)

● 京都市営地下鉄丸太町駅・北大路駅から
京都市バス204循環に乗車、
「上終町・京都造形芸大前」下車(約15分)

● 京阪電車出町柳駅から
叡山電車に乗り換え、茶山駅下車 徒歩約10分

※駐車場はございませんので、お車・バイクでの
ご来場はお断りします。
※所要時間はあくまで目安です。交通事情により
大きく変動します。

発行/編集

京都造形芸術大学
舞台芸術研究センター

デザイン 吉羽 一之(シンプルホープ)

京都芸術劇場ニュースレター
vol.32 発行日-2015年7月1日